

# SA 吹田 通信 第52号

2007年9月

発行 SA吹田事務局 〒565-0831 吹田市五月が丘東6番D-503 TEL/FAX06-6337-1085

## SA 茨木とSA吹田 歌体操関係者 懇談会報告



小川 忠夫 (SA18期)

SA 茨木とSA吹田の歌体操関係者の、懇談会の報告を致します。

開催日時 8月25日(土) 13:30~16:00 場所 茨木市福祉文化会館  
出席者 SA 茨木 14 三田会長他6名 SA 吹田 18 小川他9名

### SA 茨木の活動概要

SA 茨木は数年前に歌体操グループのSA一本化を果たすことが出来、社協に対しても、外部に対しても窓口を一本化した活動がとれるようになり、知名度も存在感もアップし、強力な活動組織に変身できた。今年から始めた「歌体操ボランティア養成講座」

座」には70名もの応募があり、現在第2期の講座を進めている。この講座は、歌体操のSA一本化があつて初めて達成できた事であり、この講座を進めることによって、更にリーダー間の絆が強まり講座運営の成功につながっている。

### SA 茨木歌体操ボランティア養成講座

この講座は昨年の12月から準備して、今年4月に立ち上げることが出来た。リーダー6人とサブリーダー約20人ほどが一体となって準備作業を進めた。3ヶ月間で15回の会合を持ち、その前の段階で毎回6人での固めの討議をして備えた。実施段階では各グループに分け、役割分担をして全員が参画意識をもって臨んだ。このことにより団結心が生まれて成功に結びついたように思う。

具体的な歌体操の振り付けでは、各グループで多少の違いがありそれを合わせるのが一苦労であった。昔習った人と最近の人とは違う事が多い。先輩の人が新しい人に合わせるのが成功の秘訣。先輩から見ると最近の人は基本体操がなっていない。しかしそればかり言っていると新しい人と一緒には活動出来なくなってしまう。今回の講習会の活動により、SA 茨木としての統一した振り付けが完

成した。今回の講座をやってみて、ボランティアをしたいと思っている人は想像以上に多い事がわかった。

講座の出席率も驚くほどの高率でびっくりしている。

SA 側もこの講座をすることによって団結し、成長したように思う。自信にもなった。茨木ではそれなりに世代交代が進んでいるが、その世代もまた高齢化している。その対策として講習会を開講して、新しいメンバーを増やす活動に踏み切った。

講座受講者の終了後の受け皿対策は、はじめに考えておく必要がある。

またSA 講座を経験しないで歌体操から入ってくるメンバーを、SA 茨木としてどう取り扱うのが課題の一つである。SA 茨木の会員との関係もむづかしい。

今後は規約改正を検討する必要もあろう。



## 懇談の主な内容をまとめてみました。

歌体操の SA 一本化、茨木もはじめからスムーズに一本化出来たわけではない。緒先輩がお元気な間はなかなか出来なかったが、世代交代する段階で一本化できた。当時は強いリーダーの元で、それぞれのグループが独

立して競い合って活動を盛り上げていた。がその当時の SA 茨木の指導者の賢明な判断があってこそ一本化に踏み切れたと思う。一本化の成果は数え切れない。一本化が無かったら現在の活動は考えられない。

### SA吹田の課題)



現在の SA 吹田の様子は、SA 茨木が 5~6 年前に経験した状況と同じ問題を抱えている。茨木は世代交代とグループの一本化で乗り切ったが、吹田の場合はそう単純ではない。

世代交代が進まない状態で後継者が育っていない。この点が最大の問題点である。

吹田でもようやく事態打開のための活動を

### 今回の懇談会を振り返って

SA 吹田の歌体操関係者のほとんどが参加されて有意義な会合になったと思う。吹田のメンバーの皆さんも、感じる場所は多々あったのではと思います。

今後の活動の推進に、多少なりとも明るさが見えてきたのではなかろうかと。

始めようとしているが、状況は極めて深刻である。現在計画している事業を成功させる為には、先輩に頑張ってもらう以外に方法は無い。世代交代する為には後輩に道を譲るのではなく、ここは一踏ん張りしてもらって、今後の道筋をつけてもらうのが務めではなかろうか。そうでなければ今回の事態は乗り切れないと思う。



SA 茨木の話聞いて、「組織の活性化」について改めて感じる場所があった。

自信に満ちた話っぷりは、成功体験を通じて得られたものであろう。

この懇談会が、SA 吹田歌体操の新しい活動の出発点になればと考えています。

以上

## 第 25 回 よっといで祭



に参加

毎年恒例の「よっといで祭」が 9 月 16 日（日）千里南公園で開催されました。主催は吹田よっといで祭実行委員会、後援が吹田市・吹田市教育委員会・吹田市自治会連合協議会・吹田市社会福祉協議会のもと、「輝け子どもたち、青い地球に平和の風を、大人も子どももよっといで。」

市民による数々のパフォーマンスや、「子ども」「福祉」「教育」「環境」などテーマごとのひろばで、イベントが盛りだくさんに行われ

ました。私達 SA 吹田は、「子どもわくわくひろば」の手作りおもちゃコーナーで、SA 12 ~ 19 期生、市民塾、MUS の総勢 31 名の皆さんが、大変蒸し暑い中ちびっこ相手に大奮闘しました。

少子化が心配される近頃ですが、いや大変な数の「ちびっ子」たち、用意した作品は午前中で売り切れ状態のところも出るほどの盛況ぶりで総個数は 1,625 個に達しました。スタッフの皆さん 暑い中お疲れさまでした。

### SA 吹田スタッフ一覧表（敬称略・順不同） 作品完成個数

期	氏名	人数	作品	個数
MUS	増山、森田	2	ユーホー	60

			スーパー紙トンボ	70
12、13 市民塾	丹羽、山地、秋元	8	紙ヒコーキ	120
	高木、小北		はと笛	170
	多村、黒川		ぶんぶんこま、	50
	〃		コケッココー	25
	河田		ひらひらスコープ	45
	〃		ふわふわヒコーキ	80
16	檀原、田中、西浦	7	コケッココー	130
	瀬野、森山、倉田		ぱくぱく人形	80
	八木		ストローヒコーキ	30
17	河内、戸澤	6	はねかえる	100
	久賀、松川		ぶんぶんこま 2点	170
	梨木、永江		4枚羽根の風車	100
18	小川、村松、	5	土星こま	85
	熊田、加藤、船田		ヘリコプター	50
19	栴田、本田、岡本	3	風車	80
	〃		手まりぶんぶんこま	80
	〃		消えないしゃぼん玉	40
	〃		カードで作るトンボ	60
合	計	31名		1,625ヶ

(広報 松川 記)



## SA 吹田 グループ 活動報告シリーズ 第2回

久賀俊秀 (SA17期)

私たちのサークルは名前の通り、SA17期の同期会です。総勢24名で気楽な(?)活動をしています。このサークルの目的は、会員相互の情報交換と親睦、さらに会員の活動分野での動員要請に協力していくことです。会員は多士済済で、さまざまな分野で幅広く活躍しており、活動紹介では

### 17期生 「サークルSA17吹田」紹介

「へ～ そんなこともやってんの～」と、感心したり、興味を感じてその活動に新規入門する人もあります。約2ヶ月に1回のペースで役員会・勉強会を持って、会員の活動紹介や持ちネタ披露で見聞を広めるとともに、おもちゃづくりやアイデア工作などに取り組ん

でいます。

また、お酒の嫌いな人が少なく、定時総会の後は地元企業の発展を祈念してビールの試飲会をしたり、会員が褒章を受けたとっては祝賀会、新しい年を迎えたと新年会など、と

にかく理由をつけてノミニケーションを図っています。そんなこんなで、とにかく自由度

120パーセントのサークルですが、「SA17吹田」としての福祉活動は、障害者支援交流センター「あいほーぶ吹田」・介護老人保健施設「つくも」・グループホーム「たんぼぼ」で、喫茶サービスのボランティアをしています。コーヒー・紅茶の淹れ方が上手なのか、それ

とも会員の笑顔がいいのか分かりませんが好評を得ています。ただメンバーが限られていることもあって、日程調整担当者のご苦労は大変なものになっています。

### ～大阪府 SA 連協だより～ (07/9 月)

第2回地区 SA プレゼンテーションがあり、大阪市、羽曳野、河内長野の3地区が行った。SA はもっと行政との連携をすべきと強調さ

### ～シルバーアドバイザー認定式～

平成19年9月26日(水)12時40分より、大阪府立青少年会館 文化ホールに於いて認定式があった。主催者の挨拶ありシルバーアドバイザーの代表が誓いの言葉を述べた。認定者の内訳は新規が261名・更新が365名、(対象プロフィールはシルバーアドバイザー養成講座を終了し、かつ「シルバーアドバイザー」にかかる認定申請基準を満たす者)・記念講演「市民フロンティア～地域を元気に地域で元気に～」(講師 中村順子氏)が90分

これからも自由度150パーセントのサークルを目指して、楽しくやって生きたいと思っています。

れた。連協会員数は998名が1003名と訂正あり。今年度のSA 認定申請者 668名/773名。申請率(80.7%)・SA 吹田20期現役生15名への説明会は12月13日、12月17日に決定



あり、そのあと認定証の各人配布があり15時30分終了した。今回のSA吹田認定者は88名でした。(内訳 男40人、女48人)

## 9月14日役員会報告事項

先導モデル - 心ふれあいネット応募申請9月4日完了・助成金申請9月14日完了、認可

9月末予定・補助金申請内容説明あり - 拠点整備費の事務家具、事務機器で9割を占める

## 大阪府高齢者コミュニティワーカーズ

### ～～～ 先導モデル事業 いよいよ活動開始 ～～～

この事業はSA吹田の活動部隊として「心ふれあいネット」の名称で事業展開をしていきます。ボランティア活動の活性化がテーマですが、具体的な活動は下記の通りです。

#### 1. チャレンジ講座の開設

#### 2. ボランティア活性化プログラム作成と実践

第1段階：歌体操

第2段階：国際交流・おもちゃつく

##### 1. 歌体操チャレンジ講座実施

11月16日(金)

10:00～12:00

12月15日(土)

10:00～12:00

1月18日(金)

13:30～16:00

吹田市主催 歌体操ボランティア養成講座

総合福祉会館 SA吹田が企画と運営を行う

SA吹田(心ふれあいネット)主催

総合福祉会館 歌体操ボランティア養成講座

寺島龍子先生 歌体操講演会

千里市民センター(南千里)



2月～5月 S A吹田(心ふれあいネット)主催

月2回 10回シリーズ 歌体操教室

## 2. ボランティア活性化プログラム作成と実践

メルベエイコ吹田・弘済院第1特養の二つの福祉施設において、心ふれあいネットのスタッフと歌体操の実務者がグループをつくり、施設の担当者とプログラム作成について活動する。



### 懇談会/部会報告

<国際交流>・「小学生に外国文化を紹介するプロジェクト」9/29までに対象4校と日程、内容を詰める

<おもちゃ>・おもちゃ要員50名を数える・9/16よっといで祭り、10/28花とミドリのフェア 人の手当てつく・11月千里高校竹細工 「竹細工より高齢者との交流が狙い」 奮っての参加を

<ブロック長>・ブロック再編等のブロックのあり方について検討継続・会員の活動実態

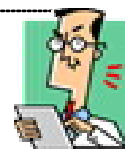
調査のアンケートを作成中 会員とのコミュニケーションを図るため訪問・面談による回収を計画

<歌体操>・先導モデル・歌体操に関するSA茨木との懇談会 SAへのチーム集結、統合方法など参考になった

<広報・HP委員>・SA吹田ホームページの開設 次回役員会にて報告承認後に開示する・広報誌創刊号より51号までをSAハウスに保管し閲覧できるようにする。

エルダーおでかけ

## 「わくわくネット」 とは



森 孝二 (SA18期)

大阪府・吹田市の〔高齢者コミュニティワークス地域支援事業〕は、個人で「60才以上の10名でグループを立ち上げ、地域課題を解決する事業を起こす」にあたり、必要な設備・備品の備費、改修経費を100万円まで助成す

### 目的と理念

団塊世代の大量停年の皆さんのこれからの長い間を、心身ともに健常で過ごせるよう「家庭から社会」に積極的に出かける場を企画・

### 事業の具体的内容

本企画は、エルダーの家庭内の引きこもりを防止して積極的に「地域・社会に出る機会をつくる」=地域レビュー=の支援をはかるための【社会見学会】の実施と【学習サロン】の運営です。このために、会員を募集して、団体で企業や公共施設などを電車・徒歩によ

### IT サロン

同時に「IT サロン」を用意して、IT弱者の多くのエルダーのための「勉強会」を開催します。インターネットの利用による広範囲

る制度です。エルダーおでかけ「わくわく-ネット」は、今年度支援対象グループに認定されました。この会の概要を説明します。以下にご賛同頂き、SAの皆様のご協力とご参加をお願いします。

提供します。合わせて「地域レビュー」と「生涯学習」の支援をします。

って見学・訪問を実施します。

これにより体力的・知的な活力の維持をはかることを目的とします。実施には、予め事務局で準備し配布する、「おでかけプラン」の中から各自の希望を受けてグループ化して、訪問する事業所を選定します。

な知識の吸収など、日々進化をしている文化的・社会的な世界から遠ざかることのないように支援します。「IT サロン」(1回/

月)「パソコン教習」(8回/月)「パ 田駅前です。グループ活動を計画の方はご利用下さい。次号に詳細な案内書を同封します  
 ソコンお助け会」(1回/月)会場は、JR吹

## ご協力・応援のお願い！！

小中学生の皆さんの総合学習を支える活動に、SA 吹田のわたしたちもお手伝いしていますが、「優しさを育てる福祉教育」のひとつとして、視覚障害者や年寄りのからだの不自由さを経験してみる学習が下記の通り開催されます。皆さんの応援お待ちしております。

ブラインド・ウォーク(目かくしで歩いてみよう)

車イスに乗ってみる・押してみる・一人で動かしてみる。

日 時 10月23日(火) 10:30~12:20(10:00集合)

場 所 市立南山田小学校(千里丘西9-1) 4年生 152名対象

内 容 SAはブラインド・ウォークを担当

連絡先 TEL/FAX 06-6876-1437(丹羽)

SA吹田		主な活動予定欄(10月~11月)			(参加希望者は担当者へ連絡を)
10月	曜	行 事	時 間	場 所	担 当 者
	日	おもちゃ作り 担当者の電話番号は名簿から調べてください。			
13	土	おもちゃ作り市民塾	10:00^12:00	北千里公民館	小北月子
28	日	花とみどりのフェスティバル	10:00~16:00	江坂公園	八木秀雄
		歌体操 教室 担当者の電話番号は名簿から調べてください。 浦井06-6383-7884			
3	水	「元気キープ」歌体操	13:30~15:30	千里王子住宅集会所	岡田 隆
12	金	「みのりの会」歌体操	13:30~15:30	亥の子コミセン多目的	浦井恵子代行
24	水	「イン・吹田」歌体操定例会・練習会	10:00~12:00	総合福祉会館	橋本一江
27	土	シニア体操グループ「花」研修会	13:30~15:30	吹田市民会館2F	亀岡房子
		その他教室 担当者の電話番号は名簿から調べてください。			
3,17	水	脳・五感を活性化する「華金塾」	13:30~15:40	千里北センター3F	新地秀生
4,18	木	「やさしい日本語」北千里教室	10:00~12:00	北千里公民館	村松章良
11月	曜	行 事	時 間	場 所	担 当 者
	日	おもちゃ作り 担当者の電話番号は名簿から調べてください。			
3~4	祝・日	北千里公民館文化祭 おもちゃ作り	10:00~16:00	北千里公民館	小北月子
10	土	SA吹田おもちゃ作り市民塾	10:00~12:00	北千里公民館	小北月子
		歌体操 教室 担当者の電話番号は名簿から調べてください。 浦井06-6383-7884			
9, 30	金	「みのりの会」歌体操	13:30~15:30	亥の子コミセン多目的	浦井恵子代行
3	土	市民健康づくりフェスティバルリハーサル	暫定 9:30~10:00	北千里体育館	橋本一江
11	日	市民健康づくりフェスティバル	10:31~10:45	北千里体育館	橋本一江
16	金	吹田市ボランティア養成講座	10:00~12:00	総合福祉会館	小川・橋本
24	土	シニア体操グループ「花」研修会	13:30~15:30	吹田市民会館2F	亀岡房子
		その他教室 担当者の電話番号は名簿から調べてください。			
7,21	水	脳・五感を活性化する「華金塾」	13:30~15:40	千里北センター3F	新地秀生
1,15	木	「やさしい日本語」北千里教室	10:00~12:00	北千里公民館	村松章良

10月12日(金) SA 吹田役員会 10:00~12:00 総合福祉会館